

様式

| | | | | | |
|-------|---|-------|--|-----------------------------|---------------|
| 技術名称 | 鉄筋腐食抑制タイプ表面含浸材 プロテクトシルCIT | 技術の分類 | 材料 | NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号) | HR-060004VE |
| 会社名等 | ポゾリスソリューションズ(株) | 担当者 | 田所 佑輔 | 連絡先 | 090-1697-2579 |
| 技術の概要 | <p>何に対する技術なのか;コンクリート構造物に塗布することで、表層に吸水防止層を形成し、水・塩化物イオンの浸入を抑制する効果と錆びた鉄筋の不動体被膜に代わる保護層を形成することで得られる鉄筋腐食抑制効果を併せ持つ技術。</p> <p>従来技術は何か;流電陽極方式(犠牲陽極)による電気防食工法。</p> <p>公共工事のどこに適用できるか;中性化や塩害などにより鉄筋が腐食した「橋梁や擁壁等」のコンクリート構造物やマクロセル腐食等の再劣化部分に適用可能。</p> | 添付資料 | パンフの有無 | 有 | |
| | | | その他の資料 | 技術資料、補足資料、実績表 | |
| 技術の特徴 | <p>比較対象技術;流電陽極(犠牲陽極)方式(NETISも同様)</p> <p>経済性;コンクリート躯体の大幅なはつりや断面修復を必要としないため、95.91%経済性が向上する。</p> <p>施工性;塗布するだけで特殊な作業を必要としないため、33.33%工程数が短縮される。</p> <p>安全性;大幅なはつりが必要ないため、安全性が向上する。</p> <p>環境;大幅なはつりが必要ないため、粉塵が舞いにくく、環境への影響が少ない。</p> <p>品質;既存躯体を傷つけず、かつ作業や管理が単純化するため品質が向上する。</p> <p>対応年数;20年以上(実績あり)</p> <p>長所;コンクリート表面に塗布することにより、コンクリート中の鉄筋の腐食電流を低減し、鉄筋の腐食を抑制する。また、コンクリート表層に吸水防止層を形成し、水や塩化物イオン等劣化因子の浸入を抑制する。</p> <p>短所;常時水に浸かる箇所には適用できない。</p> | その他 | <ul style="list-style-type: none"> 鉄筋腐食のグレードが「劣化期」の構造物に対しては適応できない(断面修復工の補修、補修工法との併用により可)。 雨天(施工後4時間以内に雨が予測される場合も含む)、及び強風の時は施工しない。 密閉された室内で使用する場合、十分に換気する。 | | |

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。